

2003年にかける

まちを代表して4人に今年の抱負をインタビュー

平成15年(西暦2003年)の新しい年を迎え、まちを代表して4人の方に今年の抱負を語っていただきました。



趣味で毎日が生きいき 塚本正夫さん

みんなの笑顔が一番の喜び

塚本正夫さん(舟場 79歳)

職場では何の仕事をして

日野町役場の健康福祉課で保育、児童手当など児童福祉関係の仕事をしています。勤めてからももうすぐ四年になりますが、町のことについて、まだ知らないこともあるので勉強していきたいです。

趣味は

ソフトテニスと買い物です。テニスは、九歳のころから続けていて、今でも県内外の大会に出場しています。適度な運動をして、汗を流すことが好きです。私の健康の秘けつ

は、そこにあるかも知れませんが、

今年の抱負は

今年、年女(未年)になります。いつも笑顔を決やさず元気いっぱい日々を過ごしたいです。海外旅行をして世界の文化を体験するなどいろいろ挑戦したいです。

また、仕事の面では、住民の皆さんから信頼される職員になりたいです。児童福祉関係で、分からないことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

元気の秘けつは

多くの趣味を持っていることです。陶芸、盆栽、ゲートボール、野菜作りなどしながら、毎日を楽しんで過ごしています。多くの趣味により、人との出会いやきずなが強くなりました。どこに行っても仲間がいるということは、とてもうれしいことです。

陶芸はいつから

十数年前にすばらしい作品に出会い、始めました。家には窯もありません。毎年、干支を作っています。酉(平成五

今年の抱負は

陶芸から多くのことを学びました。経験した技術や喜びを多くの人に伝えたい。これからいろいろな作品づくりに挑戦していきたいです。

信頼される役場職員に

谷口理恵さん(黒坂 23歳)



自分自身もっと勉強を 谷口理恵さん